

別添 4：比嘉奈津美環境大臣政務官の閉会時のご発言要旨

- 長時間にわたる活発な議論を踏まえ、「サンゴの大規模白化現象に関する緊急宣言」がまとまりましたこと、ご参加頂いた皆さまの積極的な参画に感謝申し上げます。特に座長を努めていただきました土屋先生には議論をおまとめいただき、本当にありがとうございました。
- 大規模白化現象を食い止め、豊かなサンゴ礁生態系を維持するためには、気候変動対策が不可欠であることはもとよりですが、現場で実際に取組をされている皆さんの役割がいかに重要であるかが再認識され、共有されたことは、大変意義深いことであると考えます。
- 環境省としましては、既存の予算の拡充や、新たな予算要求をしていきたいと考えており、宣言を踏まえ、できることから早急に取組を進めたいと思います。
- 具体的には、少なくとも、次の3点には緊急に着手したいと考えております。
- 1点目は、モニタリングの推進及び優先的に保全すべき地域の特定です。
まずは昨年の大規模白化の被害状況の詳細を把握するための追加調査を実施するとともに、モニタリングサイト 1000 事業の強化や優先的に保全すべき地域の特定等に向けた検討を行いたいと思います。
- 2点目は、対策を支える保全技術の検討と人員配置です。
地域における適切な保全対策の実施に向けて、将来の気候変動影響も考慮した新たな保全技術の必要性や可能性についての検討を進めます。また、必要な人員配置ができるよう要求をしてまいりたいと思います。
- 3点目は、国民全体にサンゴ礁の危機を知っていただくことです。
- サンゴ礁は、漁業や観光など、地域の暮らしにとっても重要な役割を持っていますが、汚染水の流出や観光客による踏みつけなど、私たち一人ひとりがサンゴ礁にダメージを与えているおそれがあることに気づかなければなりません。また、地球温暖化は、サンゴ礁にかつてない被害を与える主要因になっています。これらについて、シンポジウム等の開催により、多くの皆様に知っていただき、サンゴ礁への負荷を減らす行動につなげるよう協力を求めていきたいと考えます。さらに、来年は「国際サンゴ礁年」です。地球温暖化対策の国民運動であるクールチョイスと国際サンゴ礁年 2018 が連携して、気候変動によりサンゴの白化が起きていることを訴えていきたいと思ひます。
- 持続可能なツーリズムの話も出ましたが、沖縄県ではクルーズ船などで外国からも観光客が増加しているところではあります。環境省では「国立公園満喫プロジェクト」のように体験型の観光を推進しており、自然を守りながら活かしていくことが重要と考えています。そのためには、皆様方のお力添えが不可欠です。

- 参加者の皆様におかれましても、ぜひともご自分の立場からできる取り組みを進めていただければと思います。本日の会議をスタートラインとして、本日参加の皆様、関係者、一丸となった取組を進めていきましょう。